

海況速報

平成8年度 第5号 (通算 No.53)
平成9年1月9日
北海道立水産試験場

内容についての問い合わせは

中央水試海洋部 0135-23-4020

11月下旬～12月中旬の海況

【日本海海域】

津軽海峡西方から本道西岸沖を北上する対馬暖流の流量は、前回(10月)以降も、少ないまま推移しました。前回積丹半島北西沖にあった暖水渦(中心:200m層水温4℃以上)は東経139度00分まで西方に移動しています。また、前回檜山沿岸からこの渦の西沖を流れていた対馬暖流は、今回は檜山沿岸で二手に分かれ、一つの流路は前回同様暖水渦の西沖を北上し、もう一つの流路は本道西岸に沿って北上しています。北緯44度30分以上では沖合側の流路は100m層水温3～4℃の等温線、沿岸側の流路は100m層水温6～7℃の等温線に沿うように流れているようです。

暖水渦のあるところを除いた水温について見ると、200m層水温は累年平均(*1)に比べ0～-1℃の範囲のところが多くなっていますが、表面水温、50m・100m層水温については全域で低く、累年平均に比べ-1～-4℃の範囲内が多く、特に-2℃くらいの偏差のところ集中しています。津軽海峡西口の東経140度線上では水温は全層で累年平均に比べ0～+1.5℃の範囲内が多く、本道西岸沖を北上し始める場所での対馬暖流の水温は累年平均並からやや高い範囲にあります。

余市における沿岸水温(旬平均)は、10月下旬から12月下旬まで、平年値に比べ0～-1.4℃の範囲にあり、平年並からかなり低い範囲の中で推移しています。平成8年(1996年)の余市の年平均水温は11.98℃で、昭和29年(1954年)の11.68℃以来久しぶりに12℃を下回りました。ちなみに最近の(年平均)低温年は昭和62年(1987年)の12.01℃で、高温年は平成2年(1990年)の13.84℃です。

【道東太平洋海域】

釧路南方はるか沖合の暖水塊(この場合では200m層水温8℃以上)が前回(10月)以降襟裳岬方向に移動したために、主流部が三陸沿岸方面に直進する流路になっていた親潮(この場合では100m層水温5℃以下)が襟裳岬沖で流れを阻害されているようです。そして、例えば表面で7℃以下の水温の分布に見られるように、親潮には道東沖から南東方向にこの暖水塊の縁に沿って迂回するような流れができたようです。

暖水塊の部分を除く水温について見ると、道東沿岸部では累年平均に比べ-1～-2℃、その沖側では-1～+1℃となっていて、道東沿岸流の水温がやや低くなっています。この時期の道東沿岸流よりも相対的に低温な親潮主流部が前年・前々年同期(12月)と比べてやや沿岸寄りを流れているようなので、その影響があるものと思われます。

【道南太平洋海域】

100m層水温は前回(10月)に続き10℃以上の範囲がほとんどで、津軽暖流水に広く覆われ、津軽暖流は渦モード(*2)の状態になっていることが分かります。しかし、日高沿岸部では周囲よりやや低温な水が現れ(例えば100m層7℃以下)、道東沿岸から襟裳岬をかわしてきた低温な水が岸に沿って流れてきているようです。

水温について見ると、累年平均に比べ、浦河南西方向の観測線では200m層で前回に引き続きやや高温傾向で+1.8~+4.8℃、沿岸を除く他の層では0~+1℃、沿岸で-0.5~-2.1℃となっています。また、白老南方の観測線では、累年平均に比べ、恵山岬以北で100m層以深で-0.9~+4.0℃の範囲にあります。50m層以浅では-1.1~-0.4℃とやや低い状態になっています。恵山岬以南では、累年平均に比べ、各層-0.3~+0.9℃の範囲内が多くなっていますが、下北半島側の200m層だけ-2.9℃と特に低くなっています。

【オホーツク海海域】

宗谷海峡から本道オホーツク海沿岸部に沿って流れる宗谷暖流(この場合水温6℃以上)は表面では東経142度30分以東には見られなくなりました。しかし、この宗谷暖流は潜流となって、50・100m層では紋別沖まで流れていることが確認できます。一方、表面・50m層では東カラフト寒流と見られる水温3℃以下の水が、西は東経142度30分まで、東は、表面では沿岸に沿ってすでに知床岬沖まで達しています。

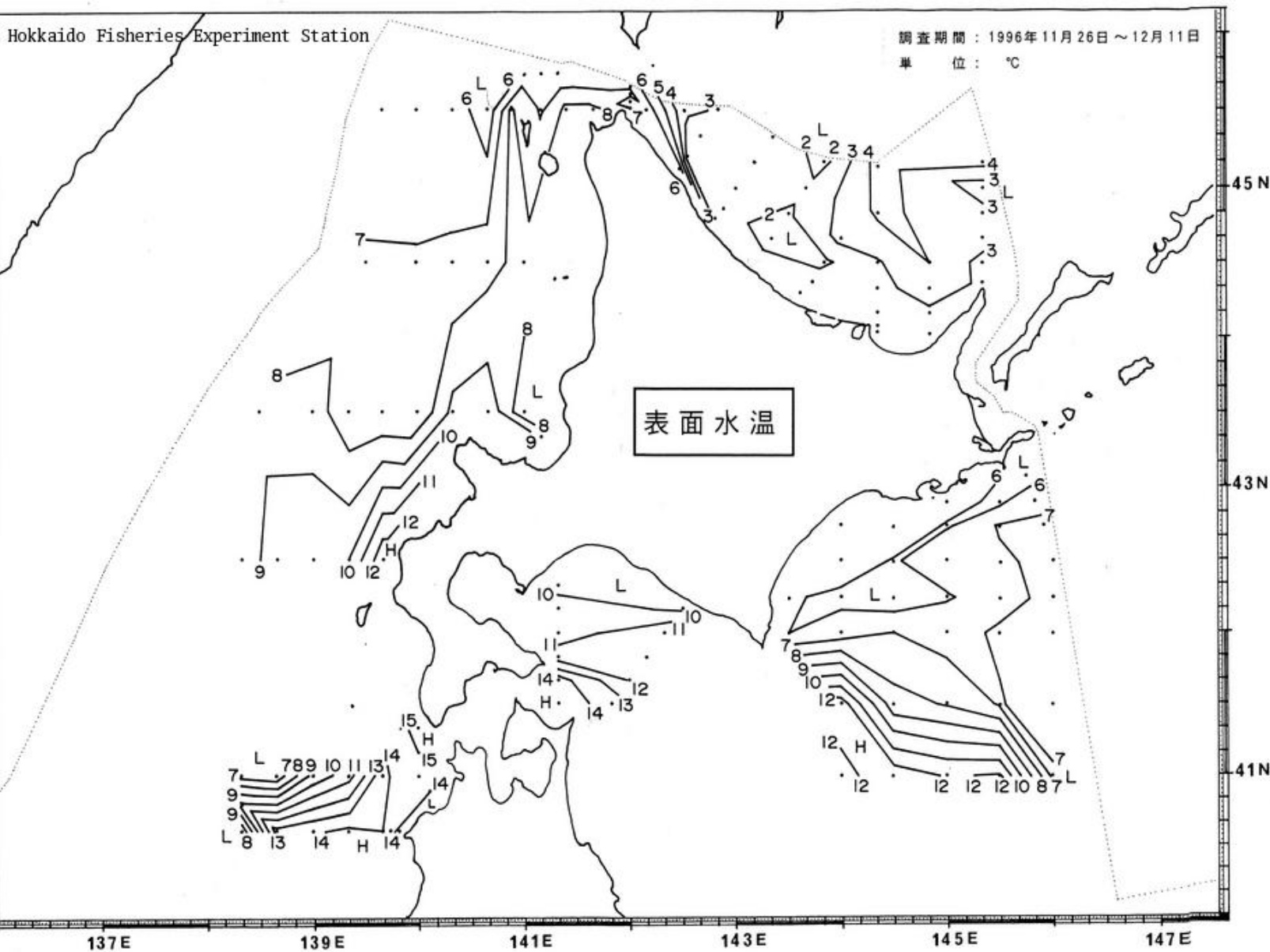
水温について見ると、沿岸側の海域では累年平均に比べ0~-4℃の範囲に入るところが多く、低温傾向になっています。沖合側の海域では累年平均に比べ、東経144度以東で東カラフト寒流と見られる水に覆われている場所の中には-2~-4℃のところがありますが、その他の大部分は+2~-2℃の範囲内にあります。

		資 料	〔観測期間〕
青森水試	(東奥丸)	平成8年12月3日	~同12月4日 (東北日本海海域)
中央水試	(北洋丸)	平成8年12月3日	~同12月4日 (道北日本海海域)
稚内・網走水試	(北洋丸)	平成8年12月9日	~同12月11日 (オホーツク海海域)
釧路水試	(北辰丸)	平成8年12月4日	~同12月10日 (道東太平洋海域)
函館水試	(金星丸)	平成8年11月26日	~同11月27日 (道南太平洋海域)
中央水試	(おやしお丸)	平成8年11月26日	~同11月27日 (道西日本海海域)
中央水試	(おやしお丸)	平成8年12月3日	~同12月4日 (道北日本海海域)

*1: 平成元(1989)年~平成7(1995)年までの平均値を使用しました。

*2: 津軽暖流が北海道沿岸近くまで大きく蛇行してから三陸方向へ流れる状態。

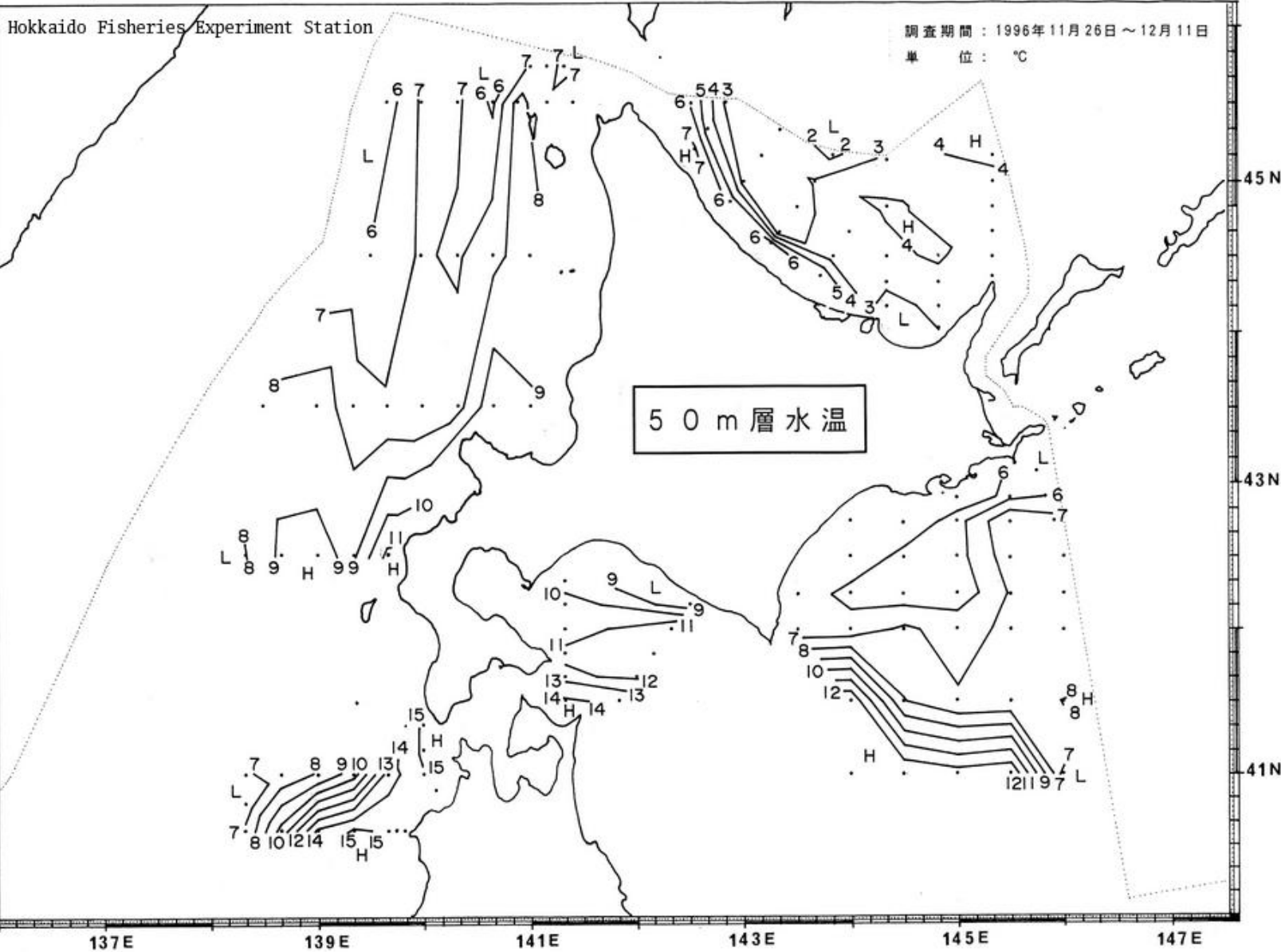
表面水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1996年11月26日～12月11日
単位：℃

50 m層水温

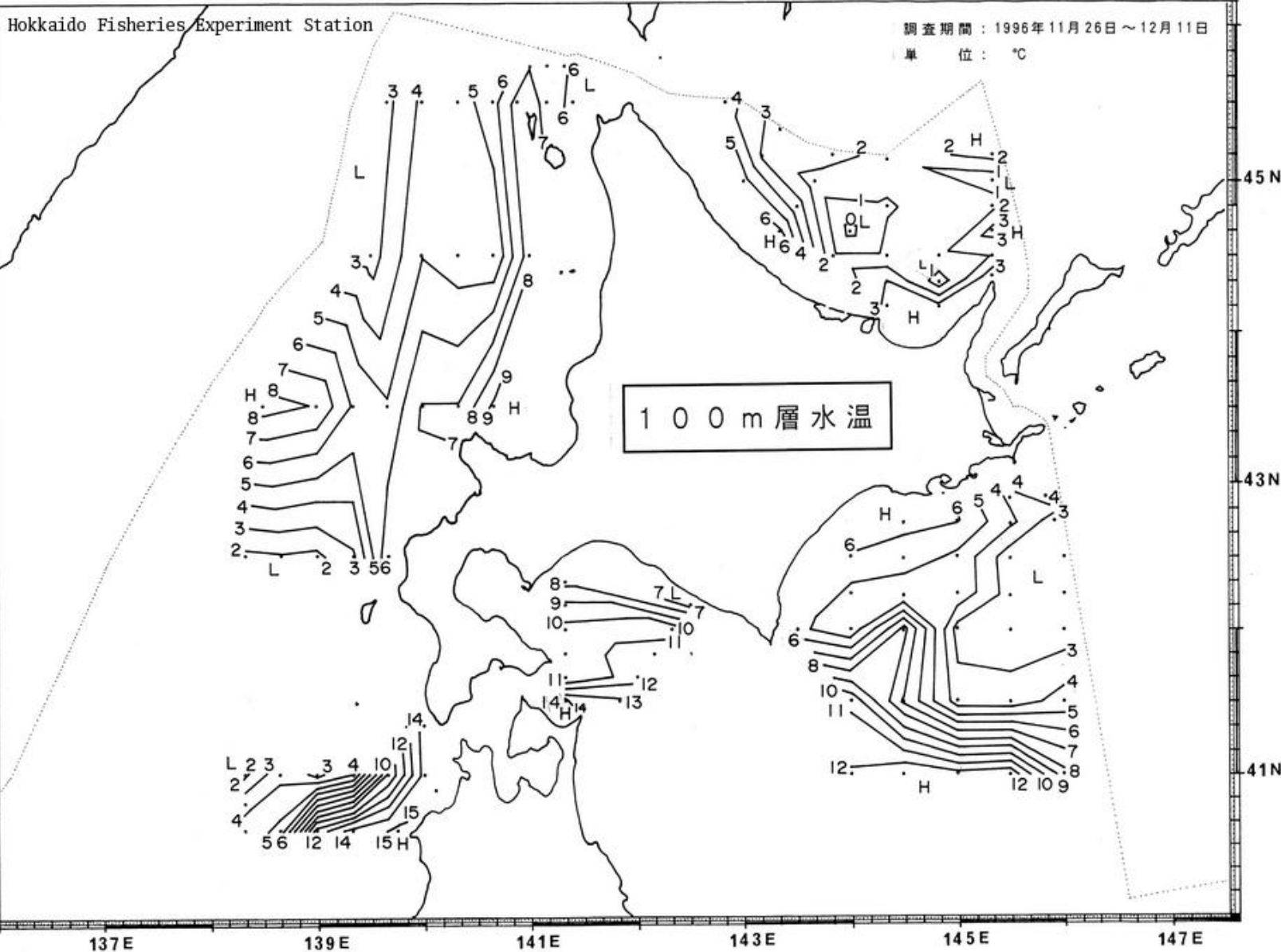


Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1996年11月26日～12月11日

単位：℃

100m層水温



200 m 層水温

